

2013年度 後期	リフレクションペーパー
-----------	-------------

学科名	生物環境化学科						
科目名	ブラッシュアップ英語Ⅱ						
科目区分	リテラシー科目	単位数	1単位	開講時期	後期		
必修・選択の別	選択・必修						
担当者	福井 令恵						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・英語の仕組みについて基本事項を理解します。 ・最終的には、コミュニケーションをとる際に習得した知識が応用できるようになることを目指します。 						
日程と内容	<p>第1回：Introduction 導入講義 授業の概要と進め方、成績評価方法などの説明</p> <p>第2回：I Read It in a Magazine.</p> <p>第3回：I Read It in a Magazine.</p> <p>第4回：What Did You Do on Sunday?</p> <p>第5回：The Goats Were Dancing.</p> <p>第6回：まとめテスト（第1回～第5回までの内容）</p> <p>第7回：If Animals Could Talk.</p> <p>第8回：If Animals Could Talk.</p> <p>第9回：Been There, Done That.</p> <p>第10回：Been There, Done That.</p> <p>第11回：まとめテスト（第6回～第10回目までの内容）</p> <p>第12回：Studying Can Be Tiring.</p> <p>第13回：Studying Can Be Tiring.</p> <p>第14回：半期のまとめ</p> <p>第15回：定期試験</p> <p>第16回：英語論文の構成（基礎編）</p>						
成績評価基準	定期試験	50%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題	50%	計	100%			
	演習						
授業到達目標の達成度	英語表現力を高めるという到達目標を達成するために、教科書以外にも適切な素材を授業内で随時紹介し、幅広い表現を身につけるように授業を進めた。試験の結果からおおむね到達目標を達成したと考えられる。						
反省点	アンケートの設問の中で、設問15の「授業で使った教室の設備・環境は良かったですか。」という項目の数値のみ、平均を下回った。教室の設備に関しては、すぐに改善できないこともあるが、もう少し工夫をして、学生に不自由を感じさせないような環境作りに努める必要があった。						
来年度の計画	該当なし。						
授業評価アンケートに対するコメント	設問1「授業の内容は理解できましたか」、設問14「この教員の授業を10点法で評価してください」という項目の数値から、おおむね、授業の内容には満足していたと考えられる。また、前期の反省点として、設問13「あなたはこの授業の予習または復習はしましたか」という質問項目の数値が、他の項目よりやや低かったことを挙げたが、この点については、後期は改善されている。						
履修登録者数	46名	定期試験 受験者数	38名	合格者数	35名	合格率	92%